

指定管理者からの令和5年度事業報告概要

施設名	岡山県総合展示場コンベックス岡山
施設所在地	岡山市北区大内田 675 番地 (代表地)

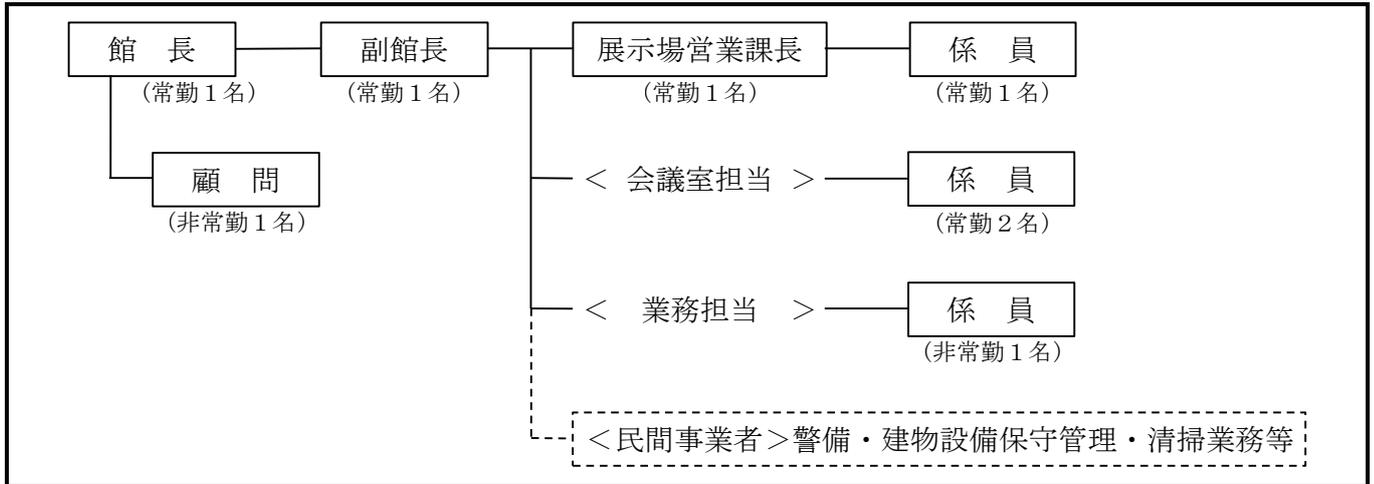
【指定管理者の概要】

名称	コンベックス岡山コンソーシアム	代表者	伊原木 省五
所在地	岡山県岡山市北区本町 6 番 36 号		

【指定管理の概要】

指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	報告期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・コンベックス岡山の施設及び設備の利用等の許可に関する事。 ・コンベックス岡山の施設及び設備の維持管理に関する事。 ・岡山県総合展示場コンベックス岡山条例第2条に規定する業務の実施に関する事。 ・上記に掲げるもののほか、コンベックス岡山の運営に関する事。 		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		展示場	会議室	合計
許可件数	5年度	199	979	1,178
	4年度	158	812	970
	増減	41	167	208

【維持管理の業務の実施の状況】

項目	内容
施設の維持管理業務	・建物保守管理 ・設備保守管理 ・清掃 ・警備 ・緑地管理等
施設等利用許可業務	・大展示場 64 件 ・中展示場 50 件 ・小展示場 85 件 ・国際会議場 158 件 等
自主企画事業	<ul style="list-style-type: none"> ・超からだのひみつ大冒険 (来場者数 60 千人) ・岡山大恐竜博 (来場者数 36 千人) ・暮らしを彩る器フェア (来場者数 17 千人)

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

	展示場	会議室	設備等	合計
収入額	237,264,975	35,989,063	70,310,396	343,564,434
利用件数	199	979	—	1,178
減免額	505,120	—	—	505,120
減免理由	公共性・公益性の高い事業であるため			

指定管理者からの令和5年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		5年度		4年度	備 考
			対前年度増減額		
収入額 A		569,200,136	177,065,498	392,134,638	5年度収入額 その他の主なもの ・テレポート岡山 電気料金負担金 54,266,233円 ・レストラン収入 19,207,975円 ・エネルギー価格 高騰等に伴う支 援交付金 8,910,000円 5年度支出額 その他 ・支払利息 10,958円
内 訳	指定管理料	-	△ 44,000,000	44,000,000	
	利用料金収入	343,564,434	96,986,018	246,578,416	
	事業収入	137,287,108	114,258,285	23,028,823	
	その他	88,348,594	9,821,195	78,527,399	
支出額 B		439,546,538	154,837,399	284,709,139	
内 訳	人件費	44,313,831	4,567,024	39,746,807	
	管理運営費	256,020,419	44,573,974	211,446,445	
	事業費	139,201,330	105,694,210	33,507,120	
	その他	10,958	2,191	8,767	
収支額 A - B		129,653,598	22,228,099	107,425,499	
県への納入金		125,000,000	21,500,000	103,500,000	
実質的な県負担額		△125,000,000	△ 21,500,000	△103,500,000	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理 運 営 状 況	①適切な施設 管理の履行	B	適切な施設管理を履行した。
	②法令等の遵守 状況	B	関係法令に基づく義務を適切に履行した。
	③安全性の確保	A	施設の安全確認を毎日実施するとともに、安全性が劣ると判断した備品等は、即座に補修や更新を行った。
	④財産の適切な 管理	B	施設及び設備の経年劣化が進行する中、保守管理を適切に行い積極的な修繕や更新を行った。
導 入 効 果	①利用状況	C	展示場の利用件数は平年の9割近くまで回復したが、平年開催していたイベントは規模縮小や日程短縮に変化しつつあり、来場者数の回復スピードは緩く平年の5割程度であった。 (展示場稼働率：58.6%、会議室稼働率：40.7%) 【来場者数（展示場＋会議室）】 R5：520,462人←R4：303,695人 【利用件数（展示場＋会議室）】 R5：1,178件←R4：970件
	②収支状況	B	施設利用が回復基調の中で、電気料金等の高騰や経年劣化による施設修繕で支出が増加する状況にあったが、定額納付金125,000千円を納付した。
	③サービス向上	B	機動的な人員配置、経年劣化した備品の更新等によってサービスの向上を図った。
管理運営業務全般		B	利用者の安全安心を最重点に置いた適切な管理運営業務を実施した。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。

B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。